

人と人
つながりの物語

illustration: Maiko Dake

コープデリグループの組合員数は約550万人。組合員の皆さんの数だけ、物語がある。その物語を毎月一つお届けしていきます。描いているのは皆さんのくらしとコープデリの接点。あなたの物語はどんな物語ですか。

各地で、0歳児へのプレゼント企画「はじめてばこ」が実施されている。多くは地元の新聞社やテレビ局の主催で、地元企業や自治体の協力のもと、生協が配達網を生かし、応募した家庭にベビーグッズや地元ならではの品を届けている。2026年度からコープみらい・いばらきコープでも始まり、コープデリグループの全生協で行うこととなった。

栃木県小山市の美奈子さんは、以前にももらった「はじめてばこ」が気に入って、娘を出産した今回も応募。2度目となる受け取りのとき、思いがけない再会があった。「届けてくれたとちぎコープの篠崎さんが、最初にはじめてばこを持ってきてくれた人だったんです。4年もたった上に、住所も変わったのに、話している中で思い出したみたいで、『上に双子のお子さんがいませんか？』もしかして引越しましたか？」って。以前住んでいたマンション名まで覚えてくれていて、うれしかったですね」

「そのときも篠崎さんは『大変でしょう』と寄り添ってくれて、つい玄関先で話し込んでしまったんですよ。途中で保育園のお迎えの時間だと気づいて出かけることになり、10kgほどある双子用のベビーカーを階段で降ろすの手伝ってくれました」

親切にしてもらったのに申し訳ないと思ったが、そのときは加入を断って他の宅配サービスを選んだ。離乳食が終わると同時にやめたが、3人目の誕生で美奈子さんはまた宅配を検討していた。巡り合わせというものだろう。再会した篠崎さんに「今回はぜひコープデリを」と言われ、利用を決めた。

.....\$.....

宅配では、離乳食の他に水や麦茶も頼んでいる。今は戸建てで階段の上り下りはないが、重いものを運んでもらえるのはありがたい。「子どもの成長とともに必要な量も増えているので、今回は続けようかなと思っています」

.....\$.....

下の子はよく寝てよく食べてくれる上におとなしい性格で、あまり手がかからない。双子は毎日朝からけんかしているが、あと1年もすれば小学生だ。結婚後に移り住んだ小山は住みやすく、気に入っている。仲の良い友だちはまだできていないが、双子が小学校に上がったなら、子どもを通じて新しいつながりができるのでは、と美奈子さんは期待している。

縁を大事にすると、さらに縁が舞い込みやすくなるという。美奈子さんには、きつと良い出会いが待っている。

※1 一部対象外の地域があります
※2 地域や時期により、プレゼント内容は異なります

過去の物語も
こちらから読めます



あなたのエピソードを
お寄せください。

コープ職員との心に残る出来事を随時募集しています。氏名・電話番号・組合員コードを記入し、郵便(〒336-8526 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13 コープデリ連合会 コミュニケーション推進部宛)か、左記のWeb応募フォームよりお送りください。